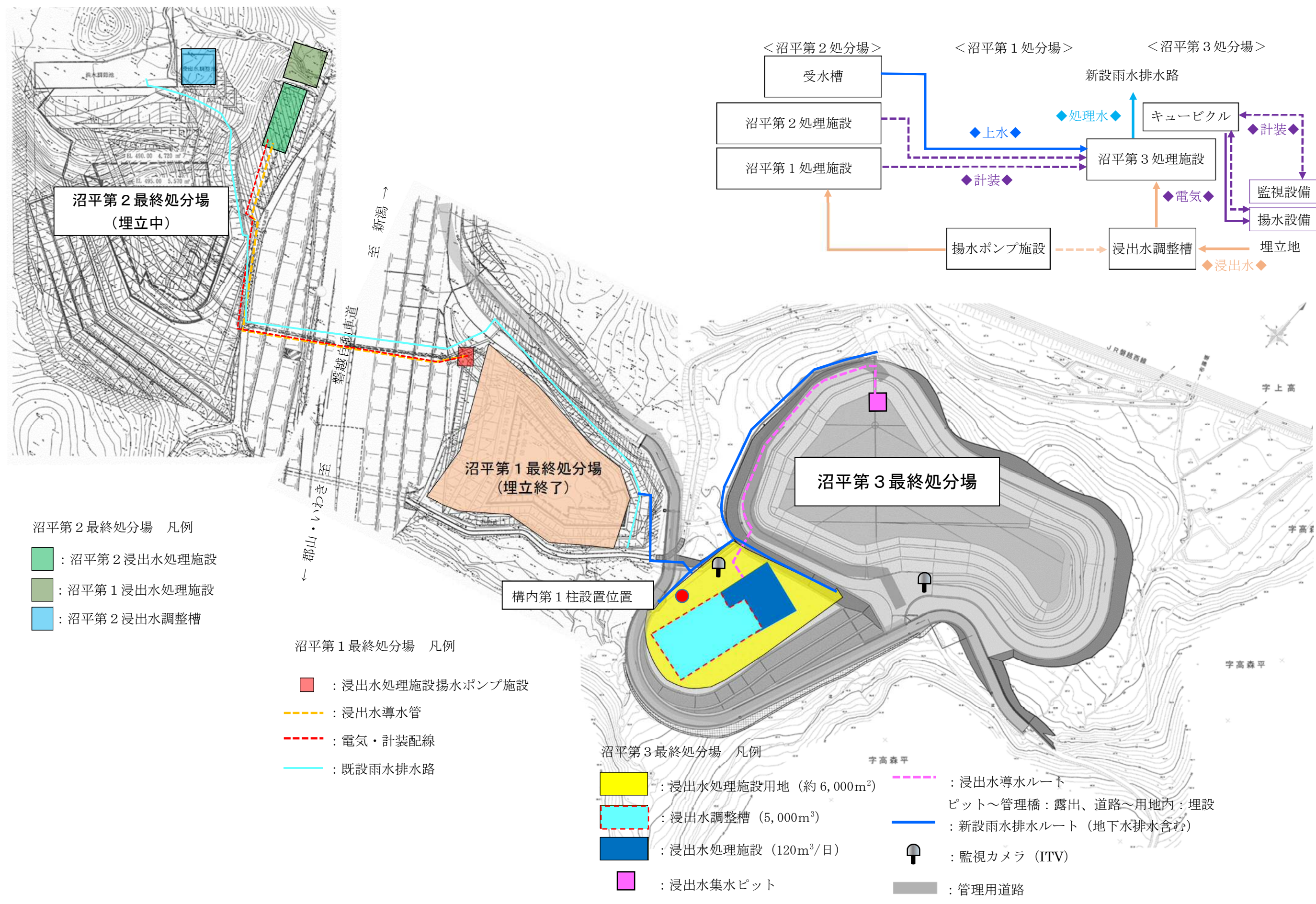
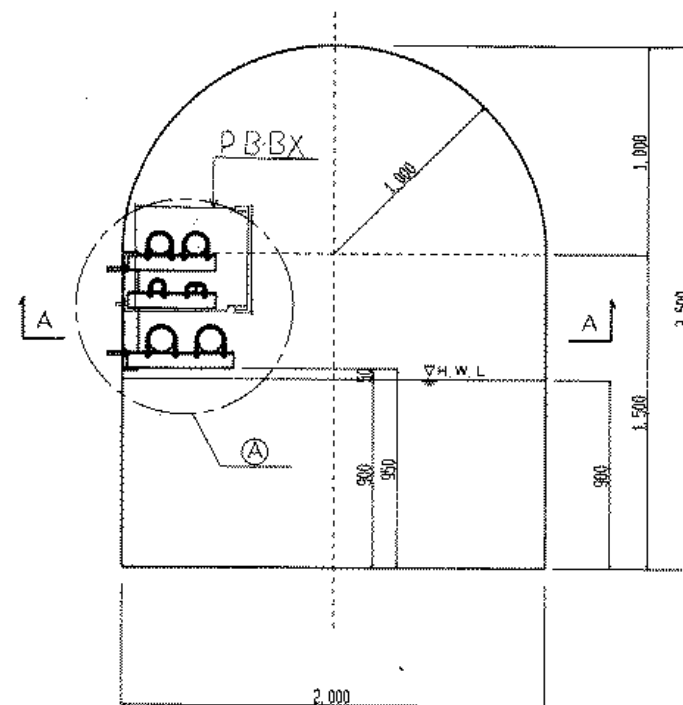


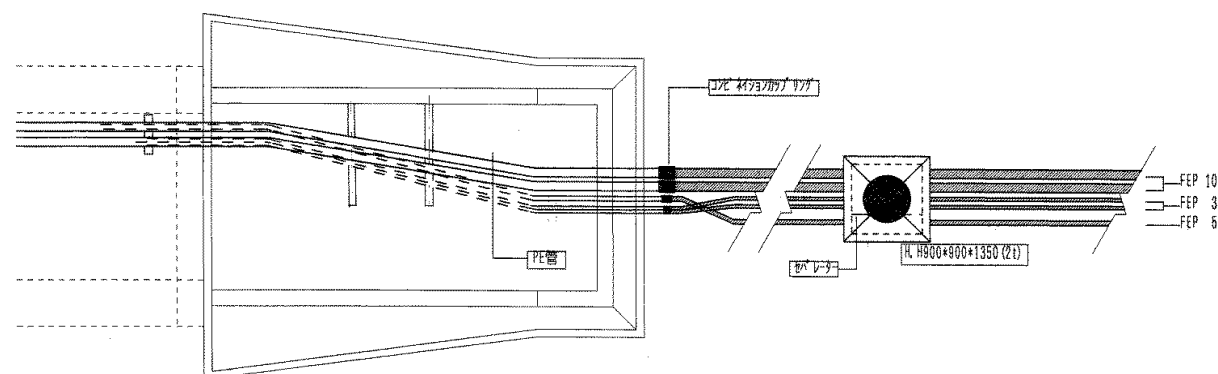
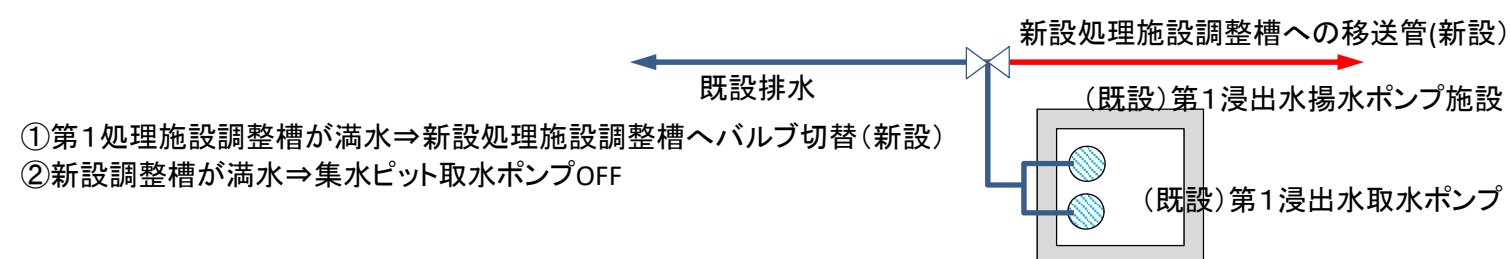
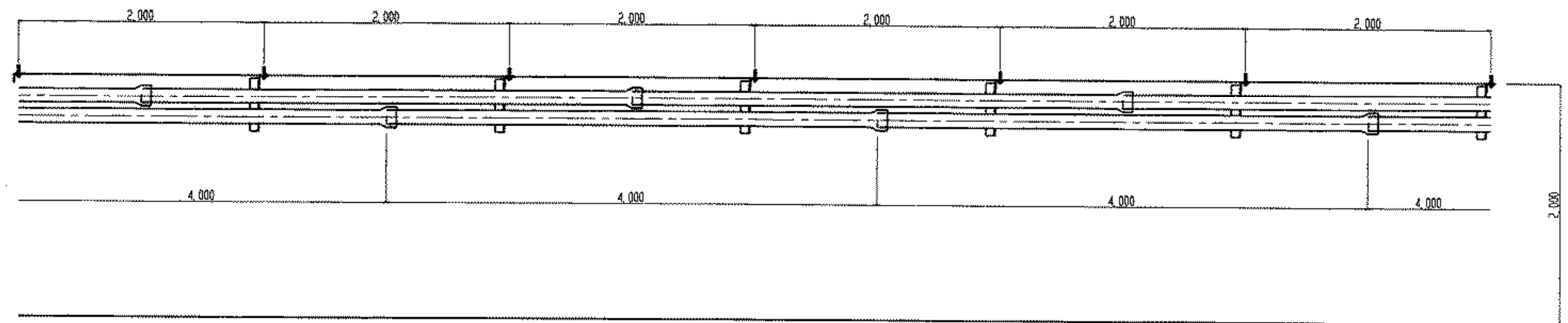


水路ボックス内配管詳細図

BOX断面図

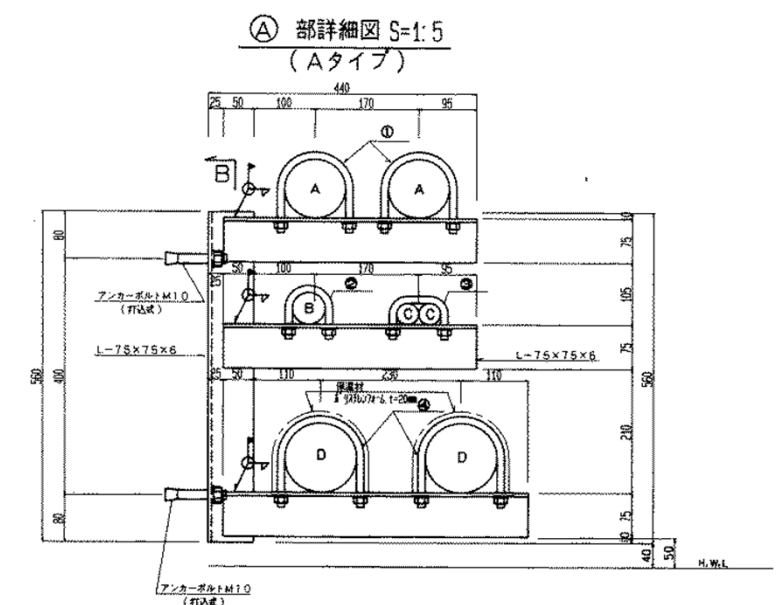


A-A

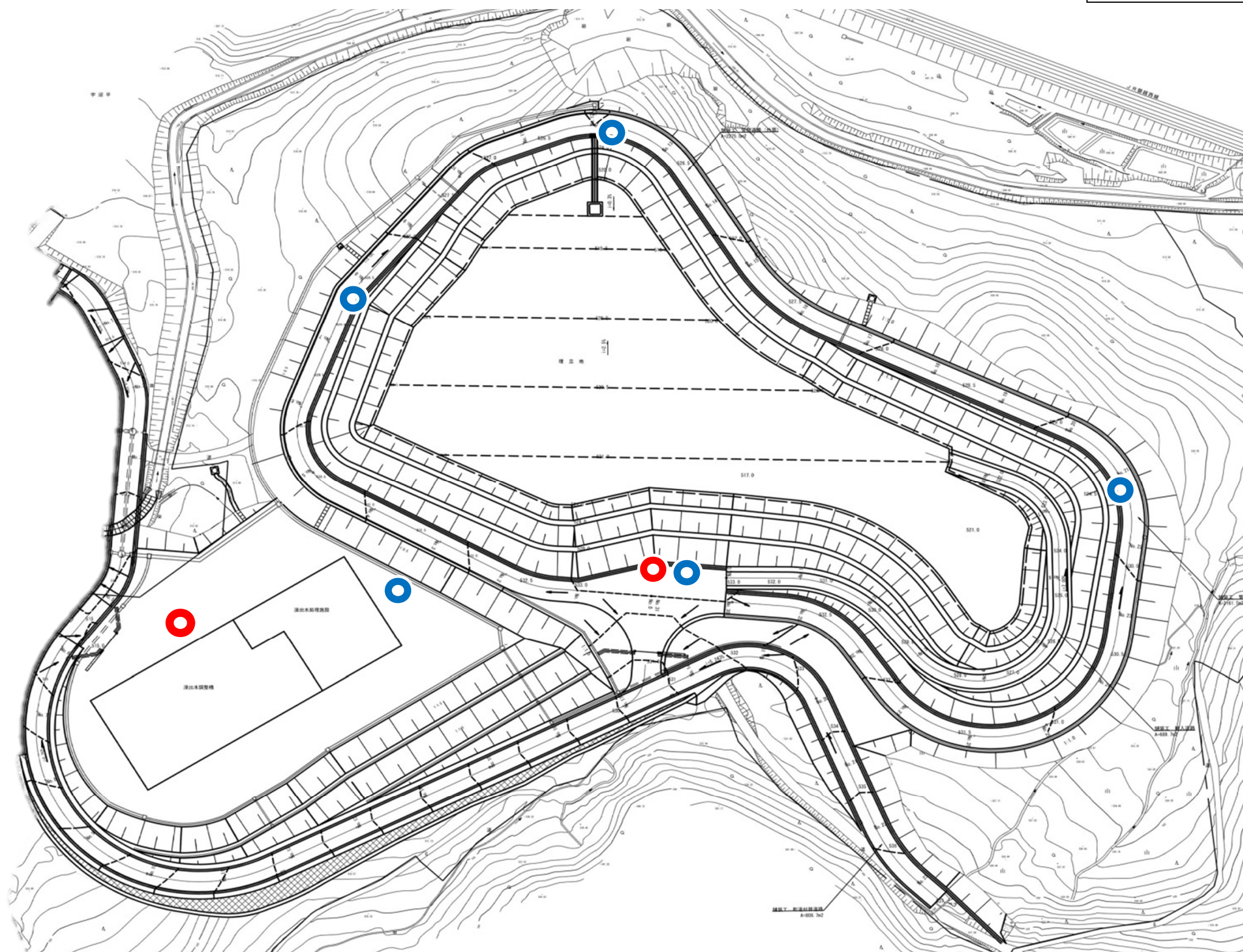


番号	R[mm]	H[mm]	L[mm]	E[mm]
①	64	83	367	30
②	37	56	228	30
③	28	47	225	30
④	65	84	372	30

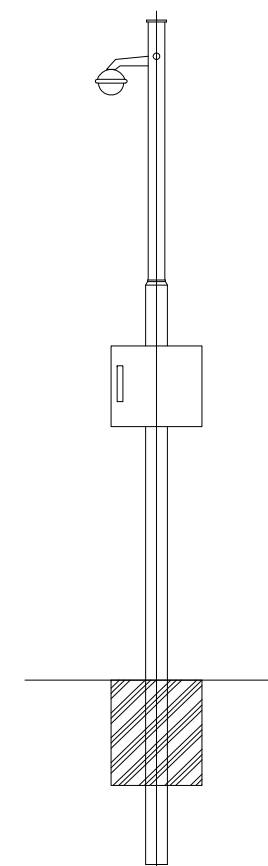
記号	種別	本数	用途
A	1' 1/2" x 1/2" 電線管 φ104	2本	遮水シート検知装置用
B	1' 1/2" x 1/2" 電線管 φ54	1本	圧送ポンプ用
C	1' 1/2" x 1/2" 電線管 φ35	2本	ポンプ制御盤用
D	2' 3/4" 鋼鉄管 DIP φ100	2本	地下排水及び浸出水送水管



別添資料1-2 監視カメラ、屋外水栓配置平面図



監視カメラ概念図



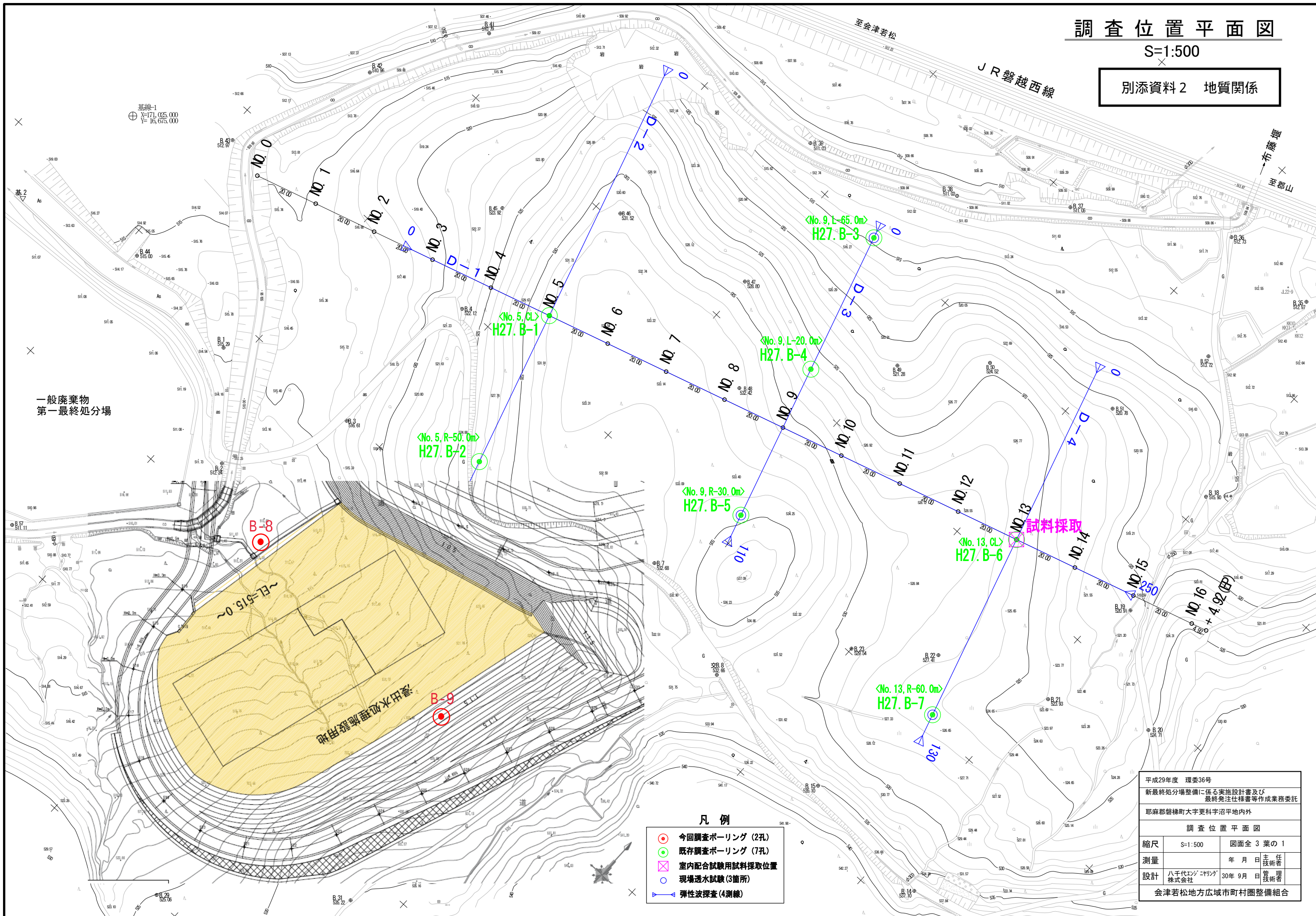
凡例

- : 監視カメラ
○ : 屋外不凍給水栓
(ステンレス製)

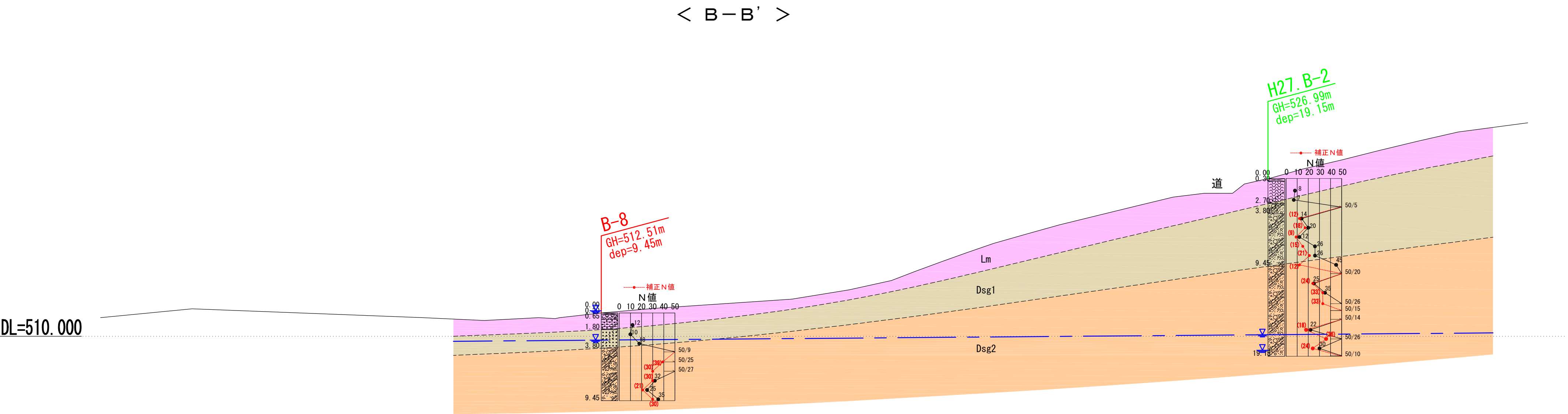
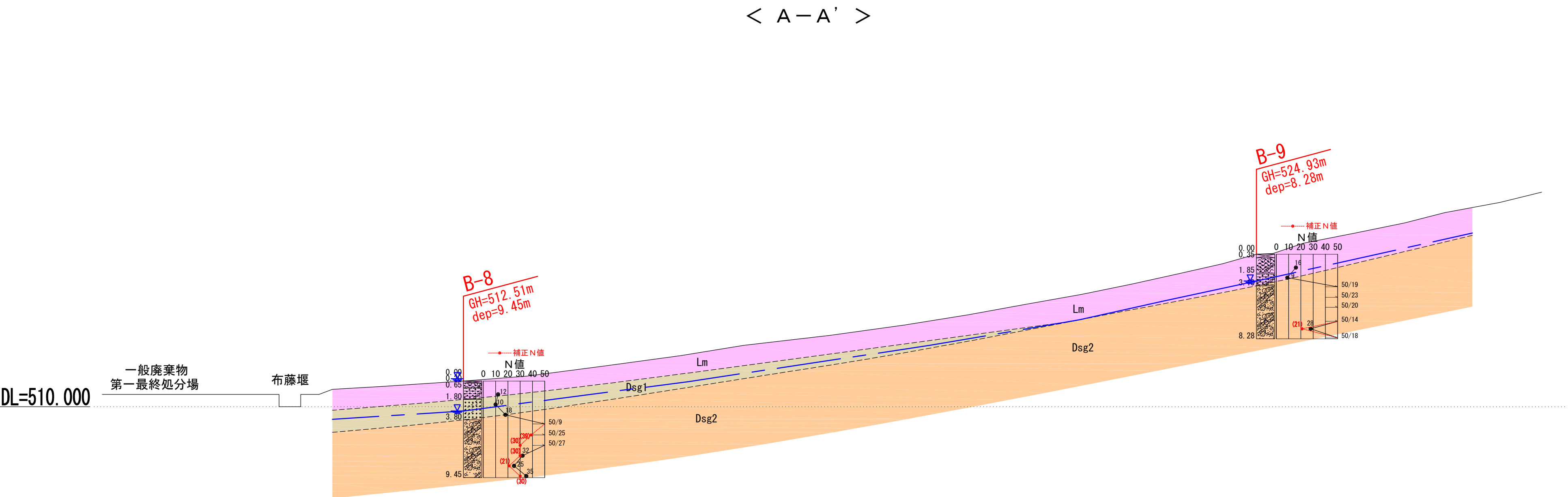
調査位置平面図

S=1:500

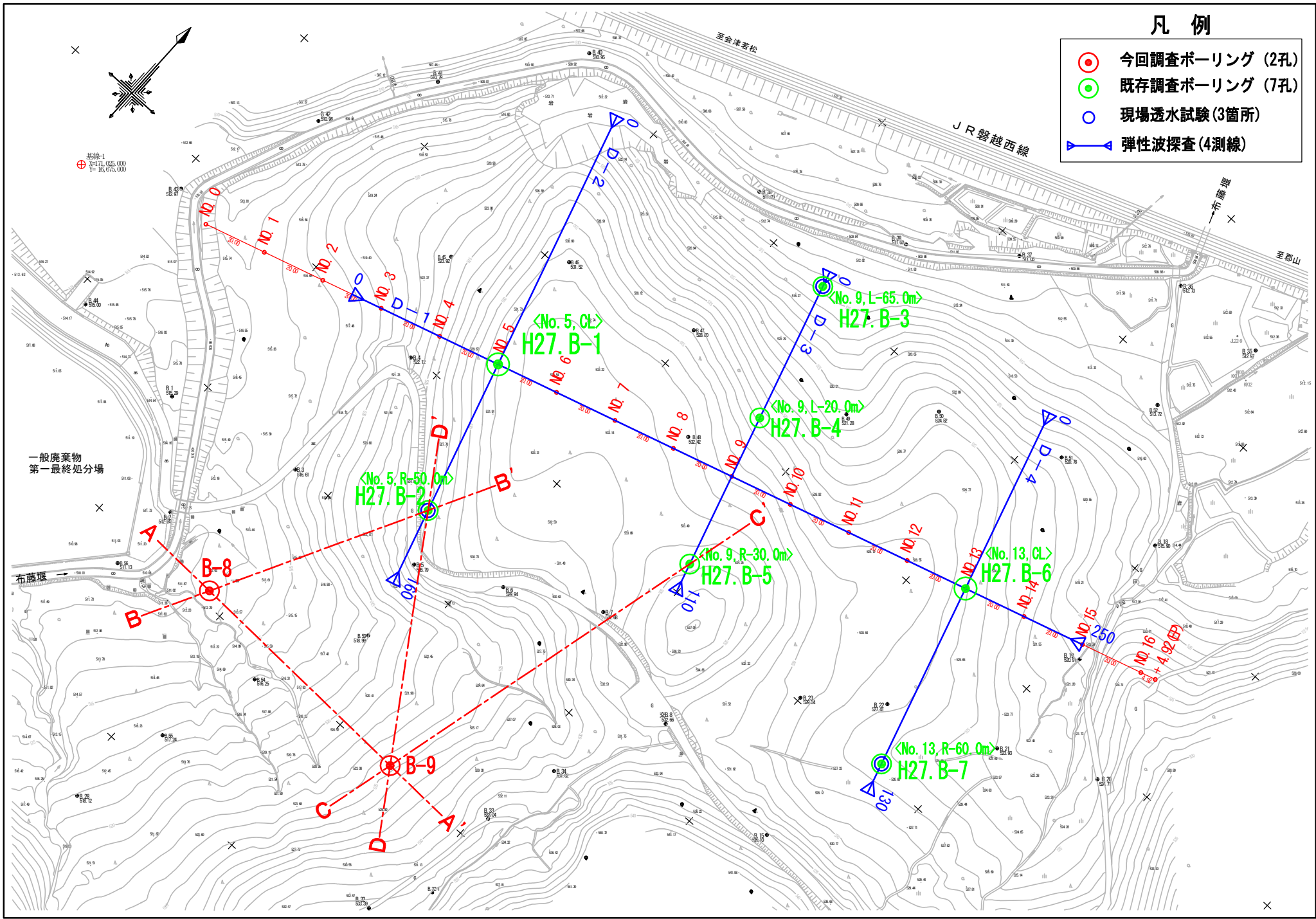
別添資料2 地質関係



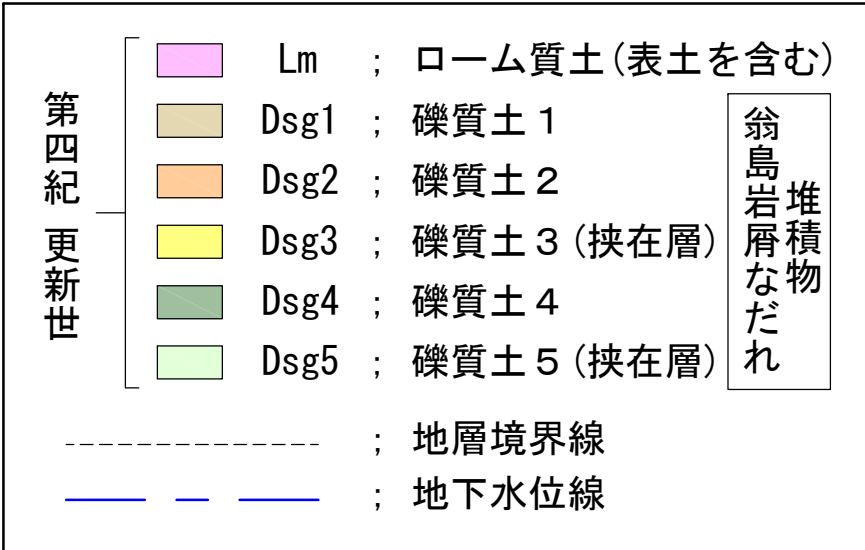
地質断面図 S=1:300



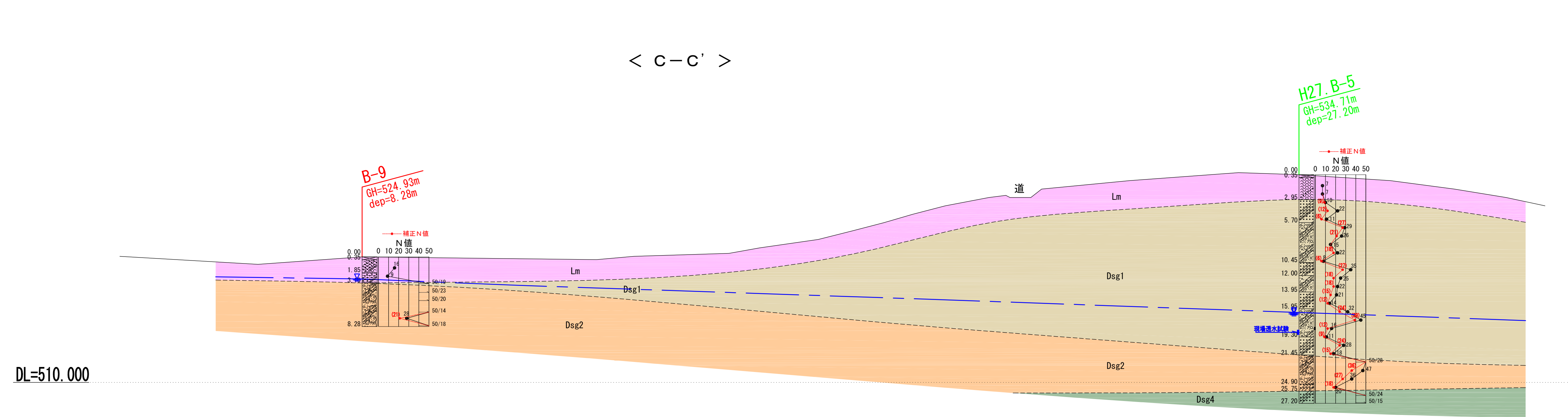
調査位置平面図 S=1:1500



地質凡例



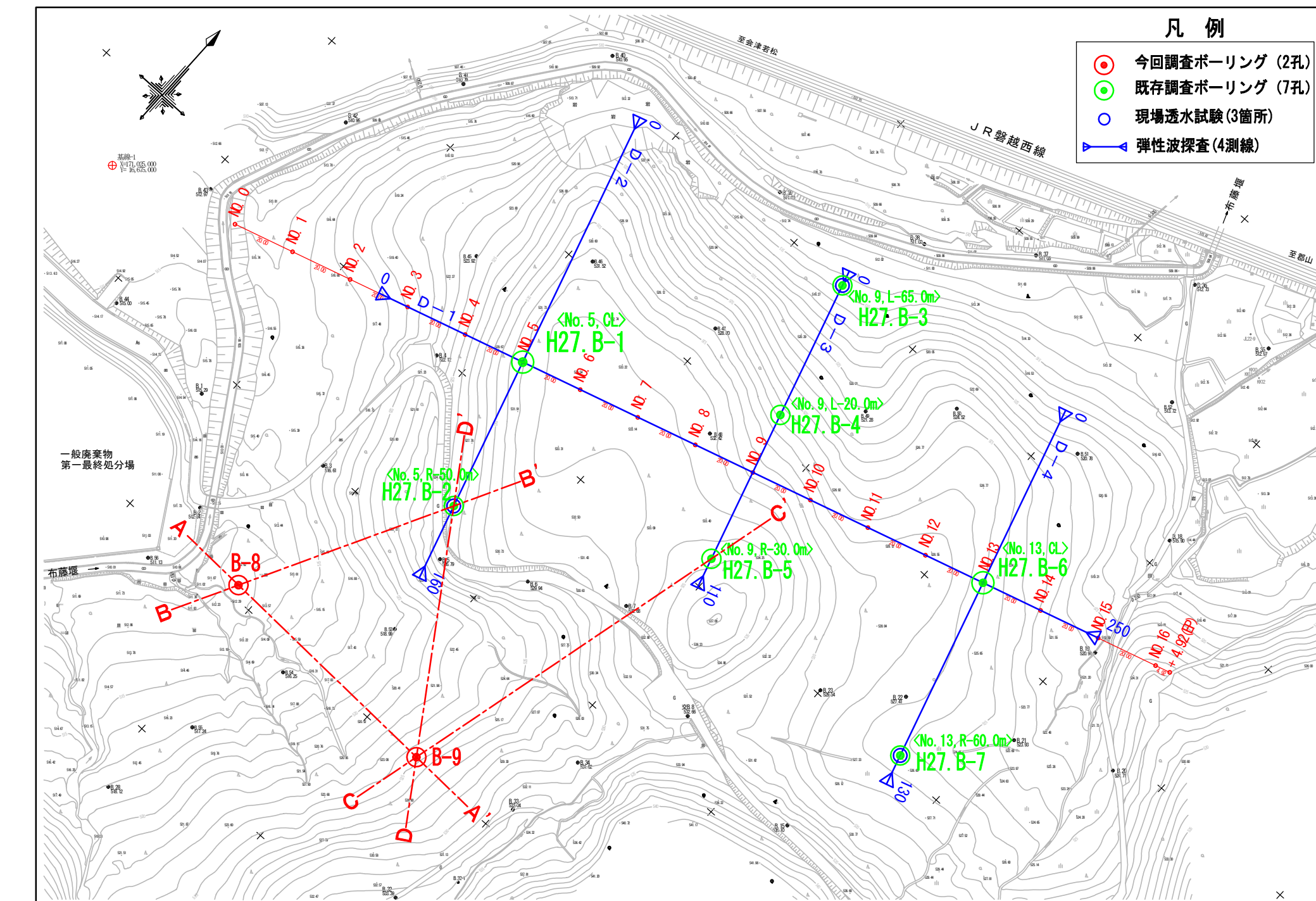
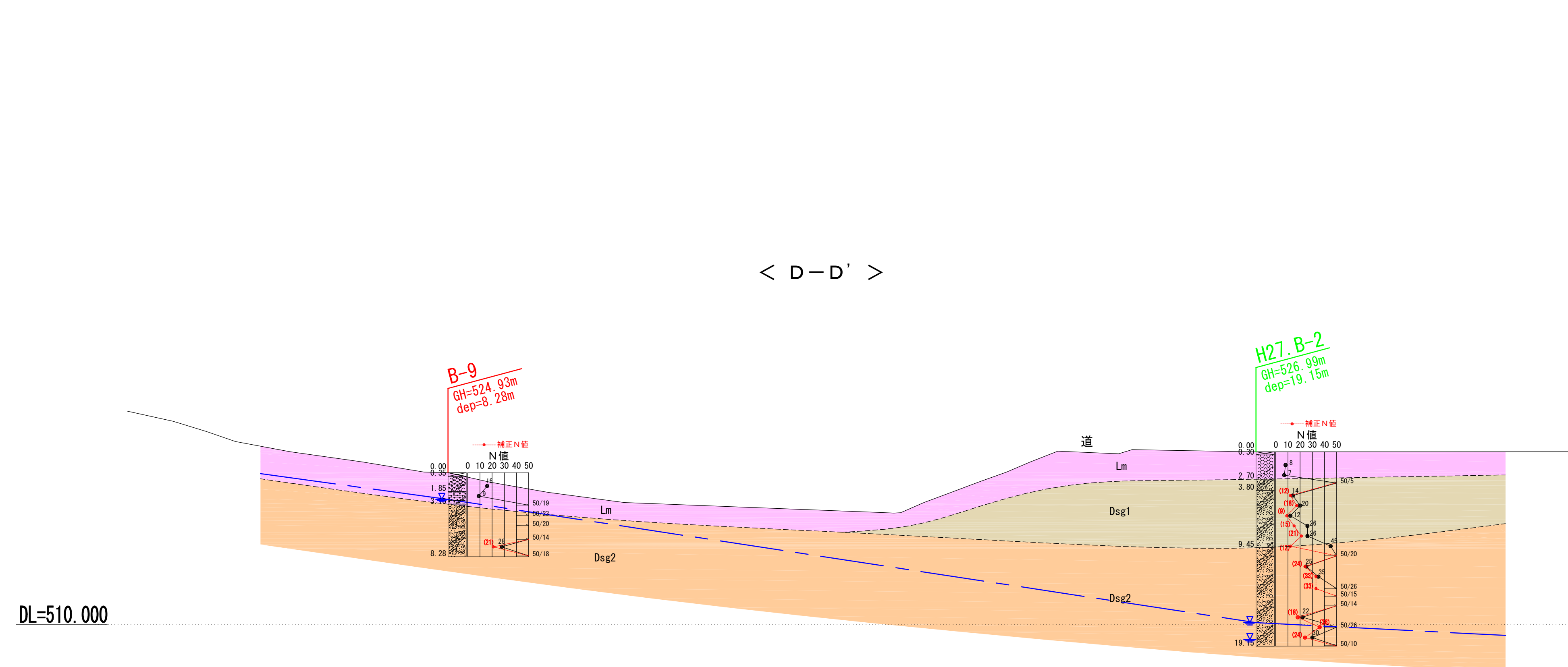
地質断面図 S=1:300



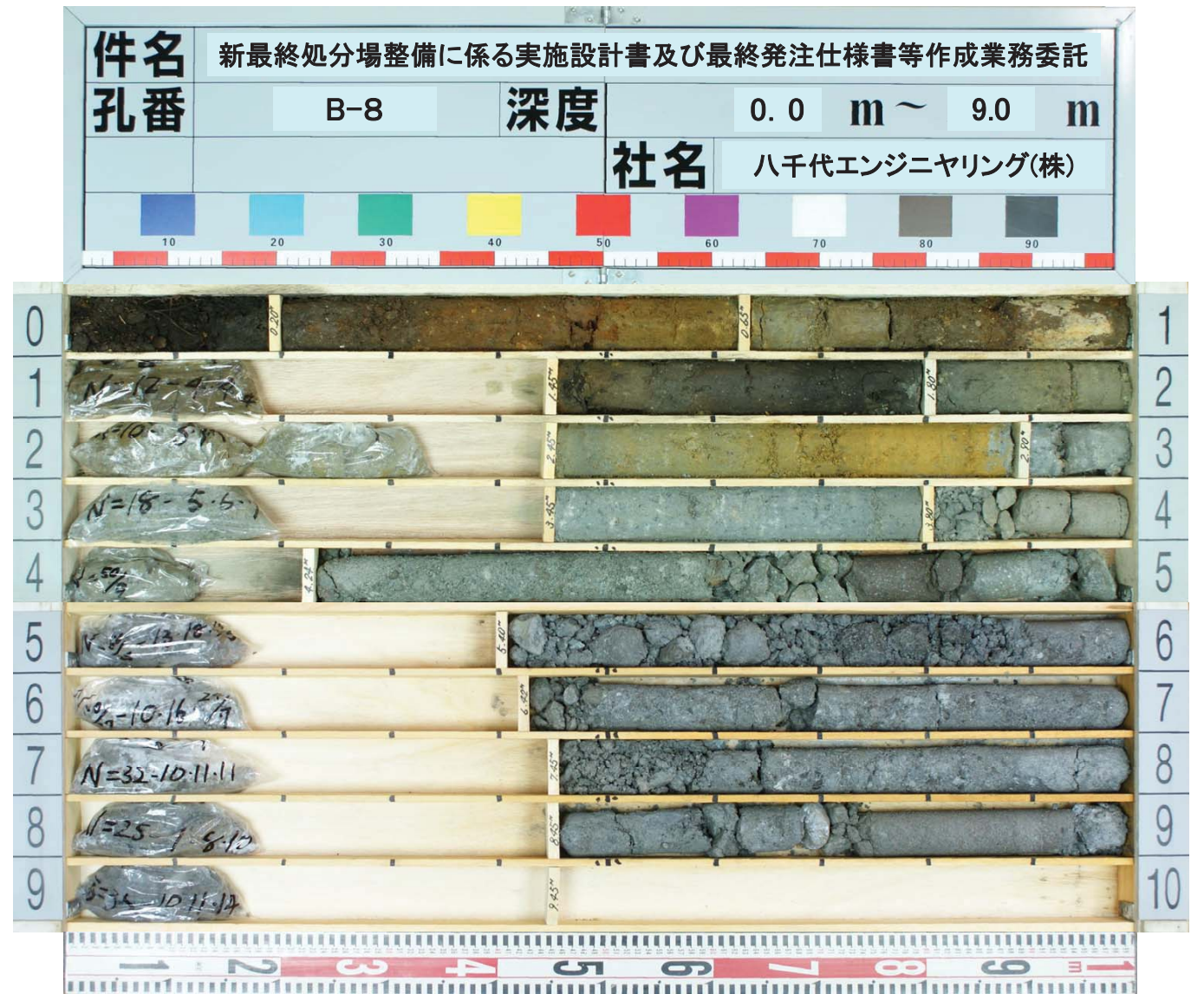
地質凡例

第四紀 更新世		Lm	；	ローム質土(表土を含む)	翁島 岩層 堆積物 なだれ	
		Dsg1	；	礫質土 1		
		Dsg2	；	礫質土 2		
		Dsg3	；	礫質土 3 (挟在層)		
		Dsg4	；	礫質土 4		
		Dsg5	；	礫質土 5 (挟在層)		
		-----				；
	—— ————				；	地下水位線

調査位置平面図 S=1:1500



平成29年度 環委36号			
新最終処分場整備に係る実施設計書及び最終発注仕様書等作成業務委託			
耶麻郡磐梯町大字更科字沼平地内外			
地質断面図			
縮尺	S=1:300	図面全	3 葉の 3
測量		年 月 日	主 任 技 術 者
設計	八千代エン지니어リング株式会社	30年 9月 日	監 理 技 術 者
会津若松地方広域市町村圏整備組合			



ボーリング柱状図

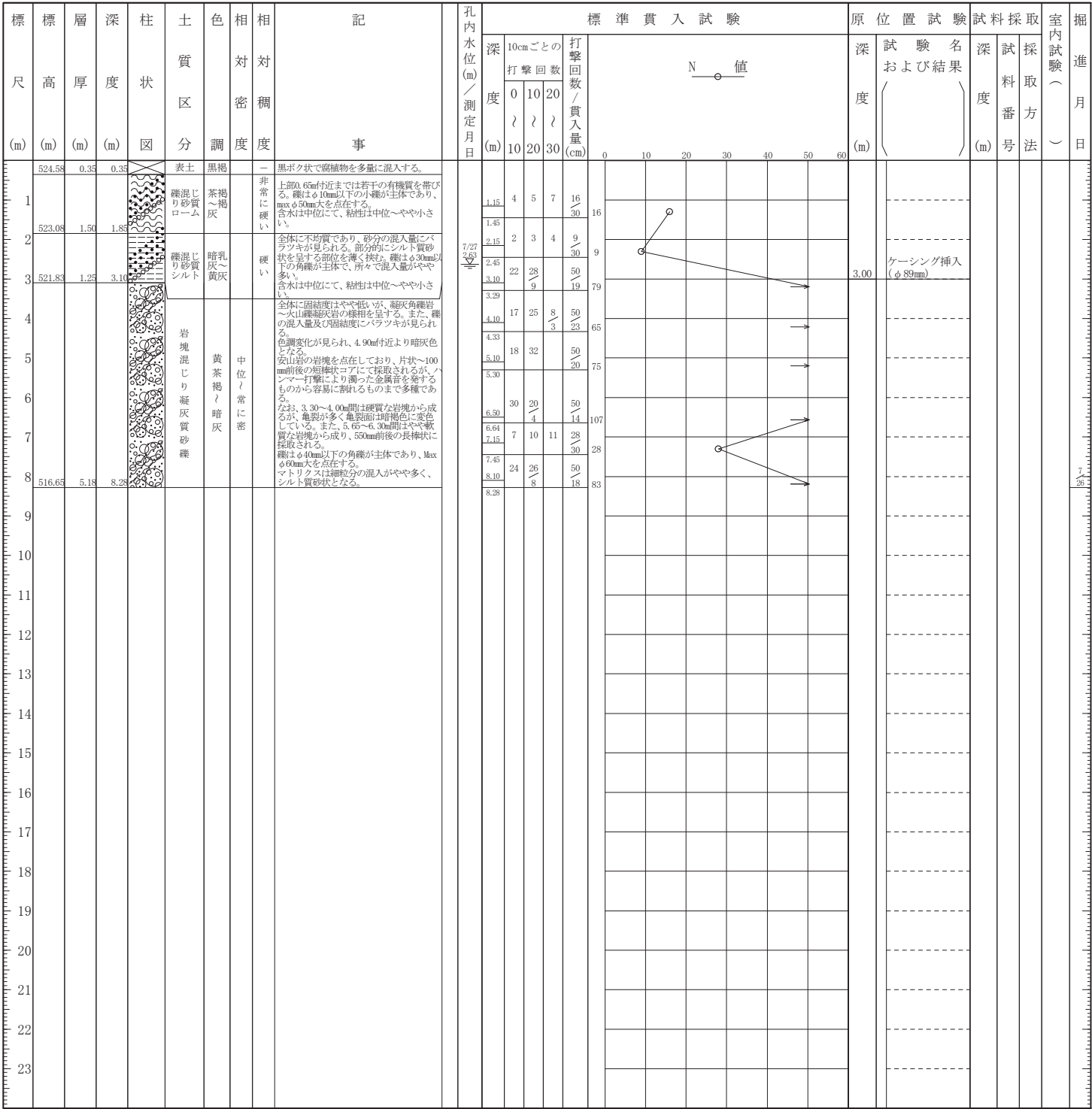
調査名 新最終処分場整備に係る実施設計書及び最終発注仕様書等作成業務委託

事業・工事名 委託業務番号 環委36号

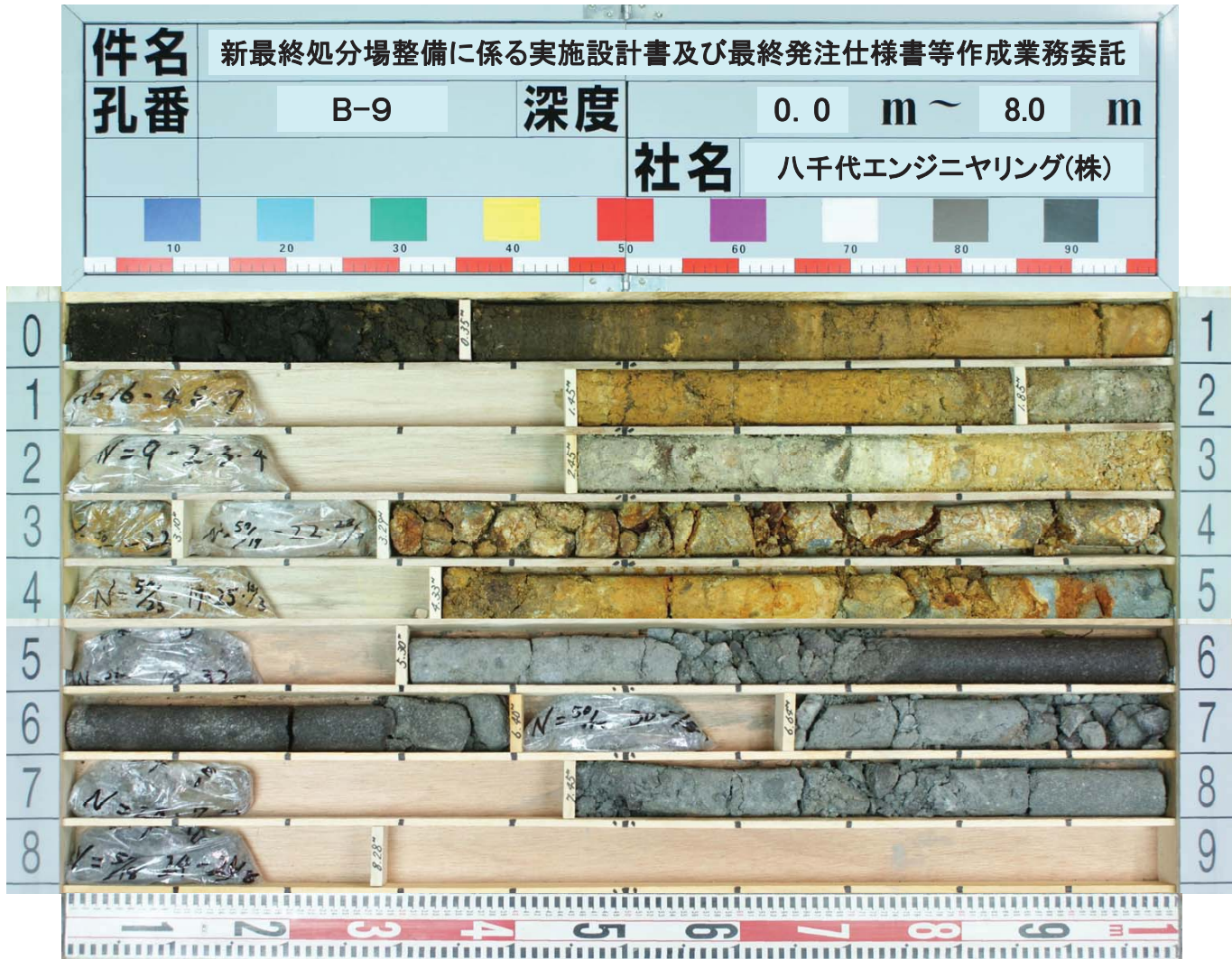
ボーリングNo

シートNo 2

ボーリング名	B-9		調査位置		福島県耶麻郡磐梯町大字更科字沼平 地内					北 緯	37° 32' 25.685"				
発 注 機 関	会津若松地方広域市町村圏整備組合				調査期間		平成 30年 7月 25日 ～ 30年 7月 27日			東 経	140° 1' 27.252"				
調査業者名	八千代エンジニアリング株式会社 電話 (03-5822-6417)		主任技師		星野 雅彦		現 場 代 理 人		吉岡 岳志	コ ア 鑑 定 者	佐藤 典仁	ボーリング責任者	田中 昌幸		
孔 口 標 高	GH=524.93m	角		方		地盤勾配	鉛直	水平	使用機種	試 錐 機		TOHO ; D-0		ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	8.28m	度		向		勾配	90°	11°		エ ン ジ ン		YANMAR : NFD13			



コア写真 <B-9>



ボーリング柱状図

調 査 名 環委第22号 最終処分場整備に係る測量及び地質調査等業務委託

ボーリングNo.	H	2	7	.	B	-	1				
----------	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo. 1

ボーリング名	H27. B-1		調査位置		耶麻郡磐梯町大字更科字沼平地内外 (No.5, CL)					北 緯	37° 32' 29.397"		
発 注 機 関	会津若松地方広域市町村圏整備組合					調査期間		平成 28年 6月 29日 ~ 27年 7月 4日			東 経	140° 1' 24.895"	
調 査 業 者 名	株式会社 サゼコンサルタント 電話 (0242-29-1711)		主任技師		山口 富士雄		現 場 代 理 人	山口 富士雄 コ ン ア 定 者		石田 洋之	ボーリング 責 任 者	外島 吉明	
孔 口 標 高	GH=531.95m	角		方		地 盤 勾 配		使用 機 種	試 錐 機	TOHO;D1-C		ハンマー 落下用具	半自動落下装置
総掘進長	24.29m	度		向		向		エンジン		YANMAR;TF120N			

標尺	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験										原位置試験		試料採取		室内試験(月日)	掘進					
										深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数／貫入量 (cm)	深 度 (m)	試験名 および結果	深 度 (m)	試料 番号	採取 方法											
											0	10	20																	
	531.70	0.25	0.25		表土 暗褐	茶褐	中位	黒ボク状で腐植物を多量に混入する。 上部0.55m付近までは若干の有機質を帯び茶褐色を呈する。 全体に砂分を混入し、粘性は中位～やや小さい。所々に乳灰色の浮岩質部を薄く挟む。 含水は中位程度。		1.15	2	3	2	7	30	7														
1					砂混じりローム	茶褐	中位			1.45	34	16	9	50	19	79														
2	529.60	2.10	2.35							2.15																				
3					岩塊混じり凝灰質砂礫	乳褐灰	中位	全体に硬質な安山岩の岩塊を多量に混入しており、コアは50～300mm前後の棒状コアにて採取され、Maxφ900mm前後と推定される。 岩塊のコア断はやや粗く、ハンマー打撃により落った金属音を発する。 礫はφ30mm以下の角礫が主体であり、礫種は主に安山岩・凝灰岩等から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多くシルト質砂状が主体であるが、所々に砂質シルト状を呈する部位を薄く挟む。 含水は中位～やや多く、若干の粘性を有する。 4.50～5.45m及び6.00m～7.00m間は完全透水となる。		2.34	50	8		50	8	188														
4										3.10																				
5										3.18																				
6										4.15	7	8	12	27	30	27														
7										4.45																				
8										5.15	11	8	10	29	30	29														
9										5.45																				
10										6.35	28	22		50	20	75														
11										6.55	50	5		50	5	300														
12	524.65	4.95	7.30							7.10	5			50	5															
13					暗黄灰	赤赤灰	密	全体に固結度が高く、凝灰角礫岩の様相を呈する。 コアは軟質塊状にて採取されるが、ハンマー軽打により容易に崩せる。 所々に安山岩の岩塊を混入しおり、片状～150mm前後の棒状コアにて採取される。 礫はφ40mm以下の角礫が主体であり、礫種は主に安山岩・凝灰岩等から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多くシルト質砂状となるが、部分的に砂質シルト状を呈する部位を挟む。 8.65～8.95m及び9.00～10.20m間は淡赤灰色を呈する。 9.3m付近で一時的に完全透水となる。		8.10	50	7		50	7	214														
14					凝灰質砂礫	暗黄褐灰	密			8.17																				
15										9.15	15	14	16	45	30	45														
16										9.45	50			50	5	300														
17										10.00	5			50	5															
18										10.05																				
19										11.05	50	5		50	5	300														
20										11.10																				
21	519.70	4.95	12.25							12.00	50	6		50	6	250														
22					岩塊混じり砂礫	暗赤灰	非常に密	全体に固結度がやや高く、安山岩溶岩の様相を呈する。 固結部を岩塊状に残し、片状～150mm前後の棒状コアにて採取されるが、ハンマー打撃により容易に崩れる。 礫はφ20mm以下の軟質礫が主体であり、マトリクスは細中砂から成る。 含水は少ない。		12.06																				
23										13.10	29	21		50	20	75														
24										13.30																				
25										14.10	25	25	6	50	16	94														
26	517.45	2.25	14.50							14.26																				
27					岩塊混じり凝灰質砂礫	褐灰	非常に密	全体に固結度がやや高く、凝灰角礫岩の様相を呈する。 15.40～18.35mは硬質な安山岩の岩塊を多く混入しており、50～250mm前後の棒状コアにて採取され、Maxφ750mm前後と推定される。 コア断はやや粗いが、ハンマー打撃により落った金属音を発する。 礫はφ30mm以下の角礫が主体であり、礫種は安山岩・凝灰岩等から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多くシルト質砂～砂質シルト状を呈する。 部分的に軟質塊状にて採取されるが、ハンマー軽打により容易に崩せる。		15.05	50			50	10	150														
28										15.15																				
29										16.10	50			50	10	150														
30										16.20																				
31										17.10	50	8		50	8	188														
32										17.18																				
33										18.05	50	6		50	6	250														
34										18.11																				
35										19.45	4	27	19	7	50	27	56													
36										19.72																				
37					凝灰質砂礫	淡青褐灰	密	半固結状を呈し、火山礫凝灰岩の様相を呈する。 コアはシルト質砂礫状を呈し、部分的に安山岩・凝灰岩の岩塊を点状に呈する。 岩塊は片状～50mm前後の粗棒状コアにて採取されるが、ハンマー打撃で割れる。 礫はφ30mm以下の角礫が主体で、マトリクスはシルト質～砂質シルト状を呈する。 23.40mまでは安山岩の岩塊が主体であり、全体に亀裂が多く片状～50mm前後の粗棒状コアにて採取される。また、亀裂面は暗褐色に変色している。 23.40m間は淡褐色を呈し、やや軟質な粒状を点状に呈する。 礫はφ30mm以下の角礫が主体であり、マトリクスはシルト質～砂質シルト状を呈する。 23.00～23.30m及び23.40m付近で一時的に完全透水となる。		20.15	14	18	18	6	50	26	58													
38										20.41																				
39										21.15	9	11	18	38	30	38														
40										21.45	50			50	6	250														
41										22.05	6																			
42										22.11																				
43					岩塊混じり凝灰質砂礫	褐灰	非常に密			23.05	50	5		50	5	300														
44										23.10																				
45										24.10	29	21	9	50	19	79														
46	507.66	2.25	24.25							24.29																				
47																														
48																														
49																														
50																														
51																														
52																														
53																														
54																														
55																														
56																														
57																														
58																														
59																														
60																														
61																														
62																														
63																														
64																														
65																														
66																														
67																														
68																														
69																														
70																														
71																														
72																														
73																														
74																														

コ ア 写 真 < H27.B-1 >



ボーリング柱状図

調 査 名 環委第22号 最終処分場整備に係る測量及び地質調査等業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	H	2	7	.	B	-	2				
----------	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--

シート No. 2

ボーリング名	H27. B-2		調査位置		耶麻都磐梯町大字更科字沼平地内外 (No. 5, R-50.0m)				北 緯	37° 32' 27.840"		
発 注 機 関	会津若松地方広域市町村圏整備組合				調査期間		平成 28年 7月 5日 ~ 28年 7月 8日		東 経	140° 1' 25.466"		
調査業者名	株式会社 サゼィコンサルティング 電話 (0242-29-1711)		主任技師		山口 富士雄		現代 場 代 理 人	山口 富士雄	コ 鑑 定 者	ア 石田 洋之	ボーリング 責 任 者	外島 吉明
孔 口 標 高	GH=526.99m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配 鉛直 水平 0° 90° 14°	使用機種	TOHO; D1-C		ハンマー 落下用具		半自動落下装置		
総掘進長	19.15m	度 0°	向	エンジン	YANMAR; TF120N		ポン プ		TOHO; BG-4			

[illegible]

コ ア 写 真 < H27.B-2 >

件名	環委第22号 最終処分場整備に係る測量及び地質調査等業務委託			
孔番	H27.B-2	深度	0.0 m ~ 19.0 m	
		社名	株式会社 サゼコンサルタント	

Depth (m)	Soil Description	Notes
0.00	Dark brown, silty clay	
0.25	Light brown, silty clay	
0.50	Light brown, silty clay	
0.75	Light brown, silty clay	
1.00	Light brown, silty clay	
1.25	Light brown, silty clay	
1.50	Light brown, silty clay	
1.75	Light brown, silty clay	
2.00	Light brown, silty clay	
2.25	Light brown, silty clay	
2.50	Light brown, silty clay	
2.75	Light brown, silty clay	
3.00	Light brown, silty clay	
3.25	Light brown, silty clay	
3.50	Light brown, silty clay	
3.75	Light brown, silty clay	
4.00	Light brown, silty clay	
4.25	Light brown, silty clay	
4.50	Light brown, silty clay	
4.75	Light brown, silty clay	
5.00	Light brown, silty clay	
5.25	Light brown, silty clay	
5.50	Light brown, silty clay	
5.75	Light brown, silty clay	
6.00	Light brown, silty clay	
6.25	Light brown, silty clay	
6.50	Light brown, silty clay	
6.75	Light brown, silty clay	
7.00	Light brown, silty clay	
7.25	Light brown, silty clay	
7.50	Light brown, silty clay	
7.75	Light brown, silty clay	
8.00	Light brown, silty clay	
8.25	Light brown, silty clay	
8.50	Light brown, silty clay	
8.75	Light brown, silty clay	
9.00	Light brown, silty clay	
9.25	Light brown, silty clay	
9.50	Light brown, silty clay	
9.75	Light brown, silty clay	
10.00	Light brown, silty clay	
10.25	Light brown, silty clay	
10.50	Light brown, silty clay	
10.75	Light brown, silty clay	
11.00	Light brown, silty clay	
11.25	Light brown, silty clay	
11.50	Light brown, silty clay	
11.75	Light brown, silty clay	
12.00	Light brown, silty clay	
12.25	Light brown, silty clay	
12.50	Light brown, silty clay	
12.75	Light brown, silty clay	
13.00	Light brown, silty clay	
13.25	Light brown, silty clay	
13.50	Light brown, silty clay	
13.75	Light brown, silty clay	
14.00	Light brown, silty clay	
14.25	Light brown, silty clay	
14.50	Light brown, silty clay	
14.75	Light brown, silty clay	
15.00	Light brown, silty clay	
15.25	Light brown, silty clay	
15.50	Light brown, silty clay	
15.75	Light brown, silty clay	
16.00	Light brown, silty clay	
16.25	Light brown, silty clay	
16.50	Light brown, silty clay	
16.75	Light brown, silty clay	
17.00	Light brown, silty clay	
17.25	Light brown, silty clay	
17.50	Light brown, silty clay	
17.75	Light brown, silty clay	
18.00	Light brown, silty clay	
18.25	Light brown, silty clay	
18.50	Light brown, silty clay	
18.75	Light brown, silty clay	
19.00	Light brown, silty clay	

ボーリング柱状図

調 査 名 環委第22号 最終処分場整備に係る測量及び地質調査等業務委託

事業・工事名

シート No. 5

ボーリング名	H27. B-5		調査位置		耶麻郡磐梯町大字更科字沼平地内外 (No.9, R-30.0m)				北緯	37° 32' 29.189"		
発注機関	会津若松地方広域市町村圏整備組合				調査期間		平成 28年 7月 8日 ~ 28年 7月 13日		東経	140° 1' 28.366"		
調査業者名	株式会社サゼコンサルタント 電話 (0242-29-1711)		主任技師		山口 富士雄		現代場 代理人	山口 富士雄	コ 鑑 定 者	ア 石田 洋之	ボーリング 責任者	外島 吉明
孔口標高	GH=534.71m	角 180° 上 90°	方 北 0° 270° 西 180° 南 東	地盤勾配 鉛直 水平 0° 90°	使用機種	TOHO;D1-C		ハンマー 落下用具		半自動落下装置		
総掘進長	27.20m	度 下 0° 0°	向	エンジン	YANMAR;TF120N		ポンプ		TOHO;BG-4			

標尺	層高	厚	深	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験					位置試験 深 度 (m)	試験名 試験および結果	試料採取 深 度 (m)	採取 番号	室内試験 ()	掘進 月 日		
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数／貫入量 (cm)							N 値	
												0	10	20									
(m)	(m)	(m)	(m)								(m)	0	10	20	30	40	50	60					
1	534.36	0.35	0.35		表土	黒褐	—	—	黒ボク状を呈し、腐植物を多量に混入する。 上部0.50m付近までは茶褐色を呈し、若干の有機質を帯びる。 所々で砂分の混入がやや多い。	7/14 16.30	1.15	2	2	3	7 30	7							
2					砂混じりローム	茶褐～黄灰	中位	—	2.00m付近より乳灰色の浮き質部を薄く互層状に挟む。 含水は中位にて、粘性は中位～やや大きい。	7/14 16.30	1.45	2	2	3	7 30	7							
3	531.76	2.60	2.95		礫混じり凝灰質砂	褐灰～暗緑褐灰	中位	—	礫はφ10mm以下の小礫が主体であり、Max.φ3.0mmを含有する。 礫層は軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 砂粒子は細中砂から成り、4.00m付近まではシルト分を混入する。 含水は中位程度。	7/14 16.30	2.15	3	3	4	10 30	10							
4					凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度はやや低い。凝灰質溶結凝灰岩の様相を呈する。 コアは軟質礫状にて採取されるが、手で容易に崩れる。 やや軟質な安山岩の岩塊をまばらに混入しており、Max100mm程度の礫状コアとなる。 礫はφ60mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多くシルト質砂状となるが、所々で浮き質を呈し、シルト分優勢となる部位を薄く挟む。 10.0m以前は礫の混入が少なく、シルト分の混入が多い。	7/14 16.30	2.45	4	8	10	22 30	22							
5	529.01	2.75	5.70		凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	5.15	2	4	5	11 30	11							
6					凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	5.45	9	9	11	29 30	29							
7					凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	6.15	9	9	11	29 30	29							
8					凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	6.45	7	8	11	26 30	26							
9					凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	7.15	5	5	5	15 30	15							
10	524.26	4.75	10.45		凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	8.45	9	6	7	22 30	22							
11					凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	9.15	2	3	3	8 30	8							
12	522.71	1.55	12.00		凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	10.15	10	6	9	25 30	25							
13					凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	10.45	9	11	15	35 30	35							
14	520.76	1.95	13.95		凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	11.15	10	6	9	25 30	25							
15					凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	12.15	6	7	9	22 30	22							
16	518.76	2.00	15.95		凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	13.15	5	8	8	21 30	21							
17					凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	14.15	6	4	4	14 30	14							
18					凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	15.45	10	14	8	32 30	32							
19	515.41	3.35	19.30		凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	16.15	17	14	13	45 30	45							
20					凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	17.15	5	4	7	16 30	16							
21	513.26	2.15	21.45		凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	18.15	18	4	4	11 30	11							
22					凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	19.15	8	10	10	28 30	28							
23					凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	20.15	7	5	6	18 30	18							
24	509.81	3.45	24.90		凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	21.15	17	17	16	50 28	54							
25					凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	22.15	12	15	20	47 30	47							
26	508.96	0.85	25.75		凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	23.45	9	14	13	36 30	36							
27	507.51	1.45	27.20		凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	24.15	24	6	7	7	20 30	20						
					凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	25.45	20	20	10	50 4	63							
					凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	26.15	35	15	15	50 15	100							
					凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	26.39	20	20	10	50 4	63							
					凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	27.05	35	15	15	50 15	100							
					凝灰質砂礫	淡褐灰～乳白灰～褐灰	中位～緩い	—	全体に固結度は低い。コアは軟質礫状に採取され、溶結凝灰岩～凝灰角礫岩の様相を呈する。 礫はφ50mm以下の角礫が主体であり、礫層はやや軟質な安山岩・凝灰岩から成る。 マトリクスは細粒分の混入が多く、シルト質砂～砂質シルト状となる。	7/14 16.30	27.20												

コ ア 写 真 < H27.B-5 >

件名	環委第22号 最終処分場整備に係る測量及び地質調査等業務委託				
孔番	H27.B-5	深度	0.0 m ~ 27.0 m		
	社名 株式会社 サゼコンサルタント				

0					1
1					2
2					3
3					4
4					5
5					6
6					7
7					8
8					9
9					10
10					11
11					12
12					13
13					14
14					15
15					16
16					17
17					18
18					19
19					20
20					21
21					22
22					23
23					24
24					25
25					26
26					27
27					28

